

施設の短期中期のサービス向上への取り組み

1. ルール、手順に基づく業務管理

(1) 業務管理の遂行

昨年度（25 年度）に周知を図った業務管理体制の事業点検を、運営基準に沿った確実な遂行を行い稼働率と職員の適正配置も的確に管理する。

- ① 月毎の業務管理票の点検を怠らず行う。
- ② 施設全体の稼働率を睨みバランスの良い職員配置を行う。
- ③ 家族支援システムの定着化を図る。

(2) 稼働率の安定と適正支出を確立強化

①資金繰りの源となる特養稼働率(目標 95%)の安定した確保に向けて入所待機者のすみやかな入所が行える為の業務の見直しを行う。

② 運営の安定を図りながらも、ご利用者に対する向き合い方を法人理念に基づき、その人らしい生活の営みを支援し、施設の印象も高め地域ニーズ応える。

(3) 施設全体の職員サービスの質の向上に努める

- ①法人・施設内研修への計画的参加の強化。
- ②職員が事業運営の一員であることを認識し、各部署が相互に補填しあえる組織体としてサービス向上に努める。

2. 各事業、施設としてのサービスの向上

(1) 利用者に満足感の意識を深める。

- ① 統一した個別ケアの取組みと生活環境を結び付ける。
- ② 利用者が主人公の生活を組み立てるために全面的に業務の見直しを行う。

(2) 地域ニーズの把握のための取組み

食の提供や包括支援センター委託業務を中心に地域ニーズに合わせた企画を実施することで、幅広い層の利用につなげ、居場所づくりや災害時の要援護者受け入れ施設として、地域に認識を図る。

3. リスク管理

- (1) 自然災害時にむけた事業継続計画の継続的策定
- (2) 感染症予防にむけた衛生管理の徹底。
- (3) 事故報告、ひやりハット報告の検証。

4. 建物管理

- (1) 改修後の設備管理の意識の強化。
- (2) 防火対策が防災対策に変化した対応の周知。

施設の取組

1. 白鳥と協力し、地域に対し福祉拠点意識を広める。

2. 利用者が安心して暮らせる心地良い環境と生活の質（快食・快便・快眠）の向上を追求する。

3. 環境整備とリスク管理上必要な物品の整備（備え）